



TACからの提案！！
損益・費用効果
 について



ii!! TAC 通信

No11 平成28年5月1日
 【発行】JAこまち 担い手推進課
 TEL0183-78-2244

JAグループの自己改革で「農業者の所得増大」が最重点課題の一つとして取り組むこととされております。所得増大と言っても、米価の低迷などにより簡単に収益アップは出来ないのが現状であると思います。必要経費と認識していても、効果よりも価格にとらわれがちです。一方で、適切な経費を掛けることは後々の想定外の経費を掛けずに済む場合もあります。コスト削減と一言と言っても様々な手段や考え方があると思います。経営とは「最終的に収益から管理経費を差し引いて手元にいくら残ったのか」これに尽きるのではないのでしょうか？

◆「コスト削減」とは…？

- ①収益又は生産量が増加し、経費が現状又は想定内の費用上昇で収まった場合。
- ②収益又は生産量は現状維持だが、経費が現状を下回った場合。
- ③収益又は生産量は減少したが、経費がそれ以上に下回った場合。

上記の3パターンが考えられます。大事な事は「生産コスト」とは基準となる面積に要した費用(10a 当たりいくら要したか)ではなく、**基準生産量を生産するために要した経費**となります。減収はコスト高を招く主因となり、通常は①が一般的と考えます。

◆所得増大！…収量目標と収益を設定しましょう！

コスト削減を考える場合、売上・生産量が目標値以上であることが大前提となります。昨年の生産コストや売上を確認した上で、今年度の目標収量と収益を決定し、作業体系と投下資材等を考えてみてはいかがでしょうか。

【設定するにあたって…】

- 1.目標反収、総体的な収益を設定する。
- 2.目標収量を確保するための1年間の生産計画を作成する。
- 3.適切な資材を決定する。



◆必要な所に必要な費用を掛ける！

除草剤を例とします。初期の除草に重点を置くことで、後期の除草は楽になり、高価な除草剤に掛っていた経費を削減出来る可能性も出てきます。一度体系を見直してみませんか？

例えば田植えの時期が…

- ・5月中旬（雑草発生は通常） → 初期剤 + 一発剤
- ・5月下旬以降（雑草発生・生育が早い） → 一発剤 + 一発剤

など…、
 散布時期を考慮した除草体系で対応することも必要です。

◆除草剤適期散布のために…

除草剤は「効果的な使用方法」「水管理」が適切に行われることによって効果を示します。適切さを欠いた場合、余分な経費と労務費が経営コストを圧迫する…という状況に陥りかねません。

除草剤の効果を充分発揮させるためにも、**水管理・除草剤管理を専門とする方を設けてはいかがでしょうか**。特に、圃場が散在する大規模経営では、検討して頂きたいと思います。